



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月8日

上場会社名 前澤給装工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6485 URL http://www.qso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本晴紀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部門担当 (氏名) 前田 近 TEL 03-3716-1513
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|------|-------|------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 18,029 | △1.1 | 1,461 | 5.9 | 1,728 | 16.4 | 778 | △16.3 |
| 27年3月期第3四半期 | 18,230 | △4.0 | 1,381 | △7.8 | 1,484 | △3.7 | 930 | △4.2 |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 707百万円 (△31.9%) 27年3月期第3四半期 1,039百万円 (△17.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 64.73 | — |
| 27年3月期第3四半期 | 77.30 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 39,181 | 30,985 | 79.1 | 2,574.82 |
| 27年3月期 | 37,632 | 30,698 | 81.6 | 2,551.02 |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 30,985百万円 27年3月期 30,698百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 15.00 | — | 20.00 | 35.00 |
| 28年3月期 | — | 15.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 25.00 | 40.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

28年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 23,700 | △2.7 | 1,800 | 13.0 | 2,100 | 17.7 | 1,090 | 7.4 | 90.58 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年3月期3Q | 12,500,000株 | 27年3月期 | 12,500,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | 466,022株 | 27年3月期 | 466,022株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年3月期3Q | 12,033,978株 | 27年3月期3Q | 12,033,990株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想については添付資料のP. 2をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 全般の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国など新興国の経済減速から景気回復に足踏みが見られる中、原油を始めとする資源価格の低下を背景にデフレ懸念が再燃するなど、景気の先行には不透明感が増してまいりました。

当社グループの属する給水装置業界におきましては、分譲マンション・貸家を中心に新設住宅着工戸数は増加してまいりました。第3四半期連結会計期間に入り、分譲マンションの着工が前年同期比を二桁下回るなど、その伸び率は鈍化してまいりました。また、世界的な資源価格の低下を背景に給水装置の主要原材料である銅価格は、引続き低下してまいりました。

このような状況下、当社グループは、耐震化を軸とした販売活動を展開するとともに、集合住宅向けのユニット製品の拡大、東北地区での復興需要の取り込み、水道メータの採算改善、製品改良によるコストダウンの実現、固定費用の圧縮に注力してまいりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比1.1%減の180億29百万円となりましたが、経常利益は、原材料価格の低下等から前年同期比16.4%増の17億28百万円となりました。なお、当社が加入する厚生年金基金の解散に伴う特別損失の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比16.3%減の7億78百万円となりました。

② セグメント別の状況

〔埋設事業〕

埋設事業におきましては、新設住宅着工戸数の伸び率の鈍化や水道事業体の布設替工事が減少し、売上高は前年同期比2.1%減の104億79百万円となりました。セグメント利益は、減収ながらも原材料価格の低下から前年同期比0.5%減の29億円にとどまりました。

〔地上事業〕

地上事業におきましては、売上高は前年同期比4.9%増の37億65百万円となりましたが、分譲マンションなどの減少から売上高の増加率は第2四半期連結累計期間6.9%増に比べ低下いたしました。セグメント利益は原材料価格の低下が進み前年同期比5.4%増の8億34百万円となりました。

〔商品販売事業〕

商品販売事業におきましては、売上高は前年同期比1.2%増の33億21百万円となりましたが、セグメント利益は価格競争の激化が大きく前年同期比12.5%減の3億89百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成28年2月8日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

（4）追加情報

（厚生年金基金の解散）

当社が加入する「全日本パルプ厚生年金基金」は、平成26年9月26日開催の代議員会において、特例解散の方針を決議いたしました。その後、同基金の純資産額が、国の定める最低責任準備金を上回る見込みとなったため、通常解散に計画を変更のうえ、平成28年1月18日開催の代議員会において、解散の決議がなされました。

解散に伴う費用の発生については、当第3四半期連結会計期間においても、確定には至っておりませんが、合理的に見積もることが可能となりましたので、当第3四半期連結損益計算書の特別損失に「厚生年金基金解散損失引当金繰入額」として391百万円、当第3四半期連結貸借対照表の固定負債に「厚生年金基金解散損失引当金」として382百万円を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,534 | 11,146 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,379 | 6,615 |
| 電子記録債権 | 3,337 | 3,652 |
| 有価証券 | 500 | 365 |
| 商品及び製品 | 3,054 | 3,243 |
| 仕掛品 | 70 | 68 |
| 原材料及び貯蔵品 | 908 | 1,134 |
| 繰延税金資産 | 119 | 46 |
| その他 | 200 | 153 |
| 貸倒引当金 | △1 | △1 |
| 流動資産合計 | 25,103 | 26,425 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,515 | 2,479 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 610 | 549 |
| 土地 | 5,713 | 5,713 |
| 建設仮勘定 | 11 | 60 |
| その他（純額） | 136 | 143 |
| 有形固定資産合計 | 8,986 | 8,946 |
| 無形固定資産 | 201 | 313 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,133 | 2,080 |
| 長期貸付金 | 15 | 12 |
| 保険積立金 | 986 | 1,096 |
| その他 | 221 | 320 |
| 貸倒引当金 | △15 | △13 |
| 投資その他の資産合計 | 3,342 | 3,496 |
| 固定資産合計 | 12,529 | 12,756 |
| 資産合計 | 37,632 | 39,181 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,776 | 6,034 |
| 未払法人税等 | 287 | 210 |
| 賞与引当金 | 204 | 64 |
| 役員賞与引当金 | 28 | 24 |
| その他 | 925 | 927 |
| 流動負債合計 | 6,221 | 7,260 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 276 | 139 |
| 退職給付に係る負債 | 349 | 346 |
| 資産除去債務 | 4 | 4 |
| 厚生年金基金解散損失引当金 | — | 382 |
| その他 | 81 | 62 |
| 固定負債合計 | 711 | 935 |
| 負債合計 | 6,933 | 8,196 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,358 | 3,358 |
| 資本剰余金 | 3,711 | 3,711 |
| 利益剰余金 | 23,068 | 23,426 |
| 自己株式 | △694 | △694 |
| 株主資本合計 | 29,444 | 29,802 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 854 | 818 |
| 為替換算調整勘定 | 376 | 345 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 23 | 18 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,254 | 1,182 |
| 純資産合計 | 30,698 | 30,985 |
| 負債純資産合計 | 37,632 | 39,181 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 18,230 | 18,029 |
| 売上原価 | 13,022 | 12,796 |
| 売上総利益 | 5,207 | 5,233 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,826 | 3,771 |
| 営業利益 | 1,381 | 1,461 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 13 | 13 |
| 受取配当金 | 32 | 42 |
| 為替差益 | 49 | — |
| 保険解約返戻金 | — | 53 |
| 保険転換差益 | — | 130 |
| 受取保険金 | — | 36 |
| その他 | 30 | 27 |
| 営業外収益合計 | 125 | 302 |
| 営業外費用 | | |
| 売上割引 | 21 | 20 |
| 為替差損 | — | 14 |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 21 | 35 |
| 経常利益 | 1,484 | 1,728 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | — |
| 特別利益合計 | 2 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | — |
| 固定資産除却損 | 4 | 87 |
| 厚生年金基金解散損失引当金繰入額 | — | 391 |
| 特別損失合計 | 4 | 479 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,482 | 1,249 |
| 法人税等 | 552 | 470 |
| 四半期純利益 | 930 | 778 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 930 | 778 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 930 | 778 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 82 | △35 |
| 為替換算調整勘定 | 30 | △31 |
| 退職給付に係る調整額 | △4 | △4 |
| その他の包括利益合計 | 108 | △71 |
| 四半期包括利益 | 1,039 | 707 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,039 | 707 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------|---------|-------|------------|--------|--------------|--------|--------------|------------------------------------|
| | 埋設事業 | 地上事業 | 商品販売 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,708 | 3,589 | 3,283 | 17,581 | 649 | 18,230 | — | 18,230 |
| セグメント間の内部売上高 または振替高 | 0 | 363 | 16 | 380 | 1,022 | 1,402 | △1,402 | — |
| 計 | 10,708 | 3,952 | 3,299 | 17,961 | 1,671 | 19,632 | △1,402 | 18,230 |
| セグメント利益 | 2,916 | 791 | 445 | 4,153 | 115 | 4,269 | △2,888 | 1,381 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△2,888百万円は、セグメント間取引消去△8百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△2,880百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3 |
|------------------------|---------|-------|------------|--------|--------------|--------|--------------|------------------------------------|
| | 埋設事業 | 地上事業 | 商品販売 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,479 | 3,765 | 3,321 | 17,566 | 463 | 18,029 | — | 18,029 |
| セグメント間の内部売上高 または振替高 | 1 | 173 | 13 | 187 | 951 | 1,139 | △1,139 | — |
| 計 | 10,480 | 3,938 | 3,334 | 17,754 | 1,414 | 19,168 | △1,139 | 18,029 |
| セグメント利益 | 2,900 | 834 | 389 | 4,124 | 146 | 4,270 | △2,808 | 1,461 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△2,808百万円は、セグメント間取引消去4百万円及び各報告セグメントに配分されていない全社費用△2,813百万円であります。各報告セグメントに配分されていない全社費用は、主に提出会社の報告セグメントに配分されていない全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。